



日本製鉄株式会社



線材製品(建材) Wire Rod



算定単位

1 t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階 (原材料調達、原材料の輸送、製品の製造)
及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト: 東日本製鉄所
主な規格: SS400, SWRM8, SD295, SWRS82B
形状: 線材コイル
主要サイズ (単位mm)
線材: $\phi 3.6 \sim \phi 22.0$
D4~D19

問い合わせ先

日本製鉄株式会社
棒線技術部 棒線技術室
TEL: 03-6867-6385
<https://www.nipponsteel.com/>

登録番号	JR-AJ-21009E-B
適用PCR番号	PA-180000-AJ-06
PCR名	建設用鉄鋼製品 (中間財)
公開日	2022年1月21日
検証合格日	2024年1月16日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AJ-24013
検証有効期間	2029年1月15日

PCRLレビューの実施

認定日等	2023年5月10日
委員長	松野 泰也 (千葉大学)

第三者検証者*

外部検証員 井上 晋一

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの
の独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った
審査員の名前を記載。

登録番号: JR-AJ-21009E-B

① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	製造+間接影響	製造のみ	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	1200	2400	kg-CO ₂ eq
酸性化	-0.40	1.5	kg-SO ₂ eq
富栄養化	-0.0055	0.017	kg-PO ₄ -eq

スコープ3やカーボンフットプリントの算定に関しては「⑥-1.その他の環境関連情報」を必ず参照のこと。

内訳	項目	単位	[A1] ~ [A3] 合計	[A1] 原材料調達	[A2] 原材料の輸送	[A3] 製品の製造	[D] 間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a		kg-CO ₂ eq	2.4E+03	4.5E+02	1.3E+02	1.8E+03	-1.2E+03
オゾン層破壊		kg-CFC-11eq	1.4E-07	1.2E-07	8.3E-10	1.9E-08	-2.3E-07
酸性化		kg-SO ₂ eq	1.5E+00	4.2E-01	6.7E-02	1.0E+00	-1.9E+00
光化学オキシダント		kg-C ₂ H ₄ eq	1.4E-02	4.3E-03	1.1E-03	8.3E-03	-2.7E-01
富栄養化		kg-PO ₄ ³⁻ eq	1.7E-02	1.1E-05	7.5E-13	1.7E-02	-2.3E-02

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目		単位
非再生可能資源	7.5E+02	kg
再生可能資源	1.1E+03	kg
非再生可能エネルギー	2.6E+04	MJ
再生可能エネルギー	-6.7E+02	MJ
淡水の消費	5.7E+02	m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

項目		単位
鉄 [Fe]	≥95.0	%
炭素 [C]	≤1.10	%
ケイ素 [Si]	≤3.00	%
マンガン [Mn]	≤3.00	%
リン [P]	≤0.050	%
硫黄 [S]	≤0.050	%

④ 廃棄物関連情報

項目		単位
有害廃棄物	0.0E+00	kg
無害廃棄物	1.6E+00	kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤ 算定結果に関する追加情報

①間接影響として、JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、本宣言上①ライフサイクル影響評価結果内訳表上の【D】間接影響列にその値を記載した。間接影響分は上記の表【A1】～【A3】の合計値に加算される。計算に使用したリサイクル率は93.0%（計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ（出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会）を使用）

②輸送シナリオはPCRに従った。

③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は、対象となる鋼材規格の各上限値のうち最大のものを示す。

④一次データは、2018年度の実績値を使用した。電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。

⑥-1.その他の環境関連情報

①ISO14001認定工場で生産している。

②代表的なエコプロダクツ（環境配慮製品）として、橋梁ケーブル用線材、送電線・配電支持線用線材などがある。

日本製鉄製品カタログ 棒鋼・線材 P7

https://www.nipponsteel.com/product/catalog_download/pdf/B001.pdf

橋梁ケーブル用線材は、環境負荷低減型超ハイテン橋梁ケーブルとしての各賞の受賞実績がある。

https://www.nipponsteel.com/product/catalog_download/pdf/B103.pdf

③[気候変動 IPCC2013 GWP100a] に関する注意：

本製品の購入者が、その組織のスコープ3 カテゴリー1のGHG排出量を算定する場合や、

本製品を用いて製造する製品のカーボンフットプリントを算定する場合には、以下のURLを必ず確認すること。

<https://www.nipponsteel.com/product/cfp/certificate.html>

（上記URLの内容は、EPDの検証対象外）

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。また、スクラップ原単位（スクラップ LCI）は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧備考

変更：2024年1月 外販プロセスガスの取り扱いを修正

変更：2025年1月6日 エコリーフマークからSuMPO EPDマークに変更

変更：2026年4月1日「⑥-1.その他の環境関連情報」に補足説明を追記

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
（参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>）